

# 「令和3年度 全国学力・学習状況調査」の結果について

## 1 はじめに

長洲町教育委員会では、長洲町の児童生徒の学力や学習状況がどのような状態にあるのかを把握し、指導の工夫改善等に生かすために「全国学力・学習状況調査」を活用しています。

今回の調査結果を、全国や県及びこれまでの調査結果と比較することにより、教育施策の成果と課題の検証・改善や学校における教育指導の改善等に役立てていきます。また、町民の皆様と共有することで、長洲町の児童生徒の「確かな学力」の育成にとともに取り組んでいきたいと思ひます。

なお、今回の調査で得られた結果は、児童生徒の学力の一部分であること、学校における教育活動の一側面であることを踏まえ、各教科での指導法等の工夫改善を図り、教育行政の施策に役立てていきます。

## 2 調査の概要

○実施日 令和3年5月27日（木）

○調査対象 小学校6年生、中学校3年生

（1）教科に関する調査（国語、算数・数学）

・知識・活用を一体的に問う問題

（2）質問紙調査（児童・生徒質問紙調査）

・学習意欲、学習方法、学習習慣、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

## 3 調査結果の概況

（1）教科に関する調査

①小学校6年生（国語・算数）

	国語	算数
全国平均正答率(公立)	64.7	70.2
町平均正答率	64.0	72.0

②中学3年生（国語・数学）

	国語	数学
全国平均正答率(公立)	64.6	57.2
町平均正答率	59.0	50.0

（2）質問紙調査の結果より

○小学校（児童質問紙調査より）

質問項目で「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」が、全国平均を上回った又は下回った主な項目

【上回った項目】

◎人の役に立つ人間になりたいと思ひますか。

◎自分でやると決めたことは、やり遂げるようになっている。

◎学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることが

できている。

◎学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う。

◎道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。

◎算数の勉強は好きである。算数の授業の内容はよく分かる。

#### 【下回った項目】

▲将来の夢を持っている。

▲今住んでいる地域の行事に参加している。

▲自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる。

▲友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。

▲これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がある。

▲国語の勉強は好きである。国語の勉強は大切だと思う。

#### ○中学校（生徒質問紙調査より）

質問項目で「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」が、全国平均を上回った（ほぼ同じ）又は下回った主な項目

#### 【上回った（ほぼ同じ）項目】

◎毎日、同じ時刻に起きている。

◎携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。

◎いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。

◎数学の勉強は好きである。

#### 【下回った項目】

▲自分には、よいところがあると思う。

▲将来の夢や目標を持っている。

▲難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。

▲今住んでいる地域の行事に参加している。

▲自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる。

▲友達と協力するのは楽しいと思う。

▲国語、数学の内容はよく分かる。

## 4 成果と課題

### ○小学校

教科に関する調査『国語』の結果では、学習指導要録の内容「思考力、判断力、表現力等」の「書くこと」について全国平均を上回った。国語の授業において、「目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書いたり、書き方を工夫したりする授業」がよく行なわれた成果である。

一方、学習指導要録の内容「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」の「話すこと・聞くこと」「読むこと」は、全国平均を下回った。とくに、「学年別配当表に示される漢字を文の中で正しく使う」内容の出題では、誤答や無答が多かったことから、漢字などを正しく読んだり、書いたりすること等の基礎・基本的な内容の定着が課題としてあげられる。

『算数』の結果では、学習指導要領の領域「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」について全国平均を上回った。とくに「思考・判断・表現」に関する問題での平均正答率が高い値となった。算数の授業において、「問題の解き方や考え方の過程が分かるように工夫してノートを書く指導」や「公式やきまり、計算の仕方などを指導するとき、児童がそのわけを理解できるような工夫」がよく行なわれた成果である。

一方、学習指導要領の領域「データの活用」について全国平均を下回った。グラフで表された複数のデータを比較したり、示された特徴や傾向を読み取ったりしながら、回答理由を言葉や数を用いて記述することが課題としてあげられる。

## ○中学校

教科に関する調査『国語』の結果では、全てについて全国平均を下回った。とくに学習指導要領の領域「話すこと・聞くこと」「読むこと」について大きく下回った。問題形式では、「記述式」問題での誤答や無答が多いことから、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つことや考えを文章として書き表すことが課題としてあげられる。

一方、漢字を正しく読んだり、語句の意味を理解したりするなど基礎・基本的な内容について定着が見られた。

『数学』の結果では、全てについて、全国平均を下回った。とくに学習指導要領の領域「数と式」「図形」について大きく下回った。問題形式では、「記述式」問題での誤答や無答が多いことから、目的に応じて数式を変えて見たり、読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することや、新たな事柄を見出し、説明することが課題としてあげられる。

## 5 今後の対策

今回の調査結果から、教科に関する調査では、小学校「数学」について、全国平均正答率を上回ったものの、小学校「国語」、中学校「国語」「数学」は下回る結果となりました。町教育委員会では、今回の「教科に関する調査」及び「児童・生徒質問紙調査」の結果を真摯に受け止め、各学校についても結果を詳細に分析し、町学力向上対策検討委員会を開催し、成果と課題を明らかにすることで、「誰一人取り残さない学びの保障」や「教員一人一人の授業力向上」に向けた具体的な取組みを行っていきます。